



山形市立第一中学校
第2学年通信 第4号
令和4年5月12日(木)
文責：山口弘治

頑張った駅伝競走大会 男子 6位 女子 5位

昨年10月より選考会を経て、駅伝チームが結成され練習が始まりました。練習は、雨の日も、雪の日も、暑い日も、寒い日も続けてきました。ただ、コロナ感染症予防のために活動ができなかったり、その練習出来ない量を埋めるための練習をすると故障に繋がったりと、調整の難しい大会になりました。大会当日、走る前のある先輩が「自分の部活の大会より緊張する。だって、一中を背負っているんだから…」と言っていました。掃除など全校生が協力、応援しているのを感じながら走ったことは、貴重な体験だったと思います。先輩方から引き継がれた襷を来年は、県大会、東北大会、全国大会へと繋いで欲しいと思います。



<p>「努力」 僕は、駅伝練習から努力の大切さについて学びました。駅伝メンバーの中には、選考会から駅伝大会まで1分半以上もタイムを縮めた人もいて、やっぱり努力は人を裏切らないということを改めて感じました。結果は悔しいものだったけれど、その悔しさを胸にこれから頑張っていきたいと思いました。2組 さん</p>	<p>駅伝に入って 大会が近づくことに練習量が増えていき、つらい時もあったけれど、その分頑張ることによってタイムを縮めることができたので、「あきらめなくて、粘り強く取り組む」ということを大切にしていきたいと思いました。2組 さん</p>
<p>～仲間と～ 僕は、この1年間、目標に向かって練習してきました。その成果で、タイムが2分以上縮みました。それは、仲間と練習を乗り越えられたからだと思います。この仲間たちとリベンジし、全国大会を目指します。3組 さん</p>	<p>目指せ！全国大会！！ 初めて走った駅伝大会で、僕は3区を走りました。自己ベストが出せたけれど、目標の9分台まであと5秒でした。県大会に行けず、悔しかったですが、協力できたので良かったです。また来年は、8分台で走り、全国大会に出場したいです。3組 さん</p>
<p>駅伝大会を終えて 駅伝は、自分との戦いだと思った。毎朝、朝練をしてキツくてやめたいと思った事もあったけれど、大会当日には自己ベストが出て良かった。来年は全国大会に行けるように頑張りたい。4組 さん</p>	<p>仲間と乗り越えた練習 駅伝の練習はほぼ毎日あり大変で、練習についていけないこともあったけれど、駅伝メンバーと乗り越えていくことができました。この経験を様々なところで生かしていきたいと思います。応援して下さい皆さんありがとうございました。1組 さん</p>
<p>仲間の大切さ 駅伝の練習を毎日するのは辛いこともあったけれど、先輩や仲間を支えられて続けることができました。当日は走れなかったけれど、走っている仲間の姿は格好良くて一緒に頑張ってきて良かったと思いました。県大会は惜しくも出場できませんでしたが、毎日練習した日々は、いい思い出です。応援して下さい皆さん、ありがとうございました。2組 さん</p>	<p>「走り続ける」ということ 駅伝の練習は楽ではなくて、とても大変でした。大会当日は、先輩の足を引っ張らないかと緊張して、不安で押し潰されそうでした。ですが、先輩や仲間が声をかけてくれたおかげで緊張もほぐれ、自己ベストを10秒以上縮めることができました。県大会に進めなかったのはとても悔しいですが、この経験をバネに頑張っていこうと思います。応援して下さい皆さん、ありがとうございました。2組 さん</p>

